

LET COMMUNITIES LEAD



はじめに ウィニー・ビヤニマ

国連合同エイズ計画(UNAIDS)事務局長 兼国連事務次長

命を救う治療があるのに、その治療を受けられずにいるHIV陽性者が世界全体で920万人もいます。いまなお、1分に1人がエイズによって命を奪われているのです。ただし、これは避けられない運命なのではありません。私たちの力で変えることができるのです。コミュニティのリーダーシップが十分に発揮できれば、公衆衛生上の脅威としてのエイズは終結可能です。

国連合同エイズ計画(UNAIDS)の新たな世界エイズデー報告書で示されているエビデンスは、極めてはっきりしています。HIV陽性者にサービスを提供するうえで、そしてHIVの流行から大きな影響を受けているキーポピュレーションの人たちに保健とHIVの支援サービスを提供するうえでは、コミュニティこそが決定的な役割を担っているのです。コミュニティによる創意と決断が、サービスへのアクセスを改善し、その質を高めてきました。コミュニティは目覚ましい変化を生み出しているのです。エイズ対策における際立ったOrdinary heroes(日々のヒーロー)です。新型コロナウイルス感染症COVID-19など他のパンデミックとの闘いも助けてきました。

この報告書は単にコミュニティが担っている重要な役割を称えるだけのものではありません。人びとの生命を救い続けてきたコミュニティの活動に今後も十分な支援を確保すること、そしてその活動を妨げる障壁を取り除くことを政策決定者に求めています。コミュニティ主導の活動に必要な資金が確保できなければ、コミュニティ活動の継続は困難になり、停滞と縮小を促すことになるからです。しかし、コミュニティ主導の組織に対する資金提供はかつてなく減少しているのが現状です。それは直ちに人びとの生命にかかわる事態をもたらします。市民社会の崩壊、および社会から排除されがちなコミュニティの人たちへの人権侵害により、HIVの予防と治療のサービスは妨げられ、エイズとの闘いは困難になっているのです。HIV感染の高いリスクに直面している人口層に対する有害な法律と政策があることから、HIVサービスを届けようとするコミュニティのアクティビストは生命を脅かされています。

政策決定者がコミュニティを尊重し、支援すべきリーダーとして遇するのではなく、管理する必要がある困った問題として扱うこともあまりに多くあります。成果の最大の源であるコミュニティを無視し、支援もせず、資金を抑え、必要な報酬も出さず、ひどい場合には攻撃の対象にすらする。これではHIV対策は成り立ちません。コミュニティの活動に対する障壁を取り除けば、コミュニティ主導の組織は、これまで以上に世界のHIV対策を推進する力となり、エイズ終結に向けた成果を上げることができるのです。

意思決定のテーブルにHIV陽性者やHIVに影響を受けた人たちが参加することは、ずっと以前からHIV対策の大原則となってきました。この原則が守られてきたところでは、対策の成果が上がっています。コミュニティのリーダーシップを認めることは、正しい選択であるだけでなく、公衆衛生上の観点からも不可欠です。2021年のHIVとエイズに関する国連総会政治宣言では、加盟国がHIV対策におけるコミュニティの重要な役割、とりわけ最も大きなリスクに直面してきた人たちのコミュニティが果たした役割を改めて認識し、支援を約束しています。いかなる場所においても、勇気ある行動によって、この約束を果たさなければなりません。

この報告書は、
コミュニティの重要な
役割を称賛するだけ
ではありません。コ
ミュニティの
救命活動を
全面的に支援し、行
く手を阻む障壁を取
り除くよう
意思決定者に
行動を促す
ものです。

コミュニティが担うリーダーシップの役割は、HIVに関するすべての計画とプログラムの中核です。資金は十分に、かつ確実に供給する必要があります。コミュニティのリーダーシップを妨げる障壁は取り除かなければなりません。コミュニティはエイズ終結への道を妨げる存在ではありません。終結への道を照らしているのです。コミュニティ主導でいきましょう！

Credit: UNAIDS





序章

私たちはいま、大変な歴史的機会に立ち会っています。公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を2030年までに達成し、その後も数十年にわたってその成果を維持することができるのです。そのためには、どうすればいいのでしょうか。コミュニティのリーダーシップを最前線で発揮できるようにすればそれが可能になることも、私たちにはわかっています。

この報告書は、エイズ終結を達成し、将来にわたってその成果を維持するには、コミュニティ主導の対応を中心としなければならないことを示しています。HIV対策を推進してきたのは、HIV陽性者であり、HIVから大きな影響を受けてきた人たちです。必要な人たちに、必要な情報や対策を届けること、必要なサービスにつなぐこと、イノベーションを生み出すこと、サービス提供者や政府や国際機関やドナーに説明を求め、責任を追究すること、すべての人の健康と尊厳と人権をまもること、コミュニティは常に、こうした目覚ましい動きの先頭に立ってきました。信頼できる声なのです。

何が最も必要なのか、何が機能し、何を変えなければならないのか。コミュニティにはそれが分かっています。コミュニティは、リーダーの役割を割り振られるのを待っているわけではありません。自らその役割を引き受け、しっかりと果たしてきました。新型コロナウイルス感染症、エボラ、エムポックスなど他のパンデミックや健康危機にも、自らのスキルを生かし、決意を示しています。コミュニティが主導することで、より健全で強靱な社会が構築されるのです。

この報告書は、HIV対策を日々に支えるヒーローたちに光を当てています。これまで、余りにも過小に評価されてきた人たちです。報告書にはコミュニティへの称賛を超えた意味が込められています。コミュニティがリーダーシップを発揮できる条件を大急ぎで整えるよう、各国政府や国際パートナーに緊急行動を呼びかけているのです。

Credit: Elizabeth Carecchio



コミュニティの
リーダーシップを
妨げている障壁は
取り除くことが
可能です。
コミュニティ主導の
潜在力を最大限に
引き出すには
それが必要なのです。

リーダーシップを発揮しようとしても障壁に阻まれているコミュニティがたくさんあります。コミュニティ主導の対応の重要性が十分に理解されず、資金も不足し、場所によっては攻撃にさらされてしまうのです。世界全体でみると、資金は過去10年減少してきました。2012年には対策資金の31%をコミュニティが使っていたというのに、2021年には20%にまで落ち込んでいるのです(1)。資金不足、政策と規制がもたらす障壁、市民社会および女性や疎外されたコミュニティの人権に対する弾圧が、HIVの予防、治療、ケアのサービスを妨げているのです。コミュニティ主導の組織に十分な資金を確保し、様々な障壁を取り除くことは、すべての人の利益になります。コミュニティがリーダーシップを発揮できるようにすれば、公衆衛生上の脅威としてのエイズを終わらせるという約束が実現できるのです。

コミュニティのリーダーたちはこう語っています。「私たちは介入を受ける対象ではなく、対策の主要な担い手です。問題とみなされるべきではありません。解決の鍵を握っているのです」

報告書は、以下の3点を強調し、なぜ必要なのか、その理由を説明し、実現の方法を示しています。

- コミュニティに影響を与えるHIV関連の計画、政策、プログラムについては、企画、策定、予算確保、実施、モニタリング、評価のすべての段階で、コミュニティのリーダーシップを中心に据える。「私たちに関係することは何事も、私たち抜きでは決めない」
- コミュニティがリーダーシップを発揮できるよう十分な資金を持続的に確保することで、プログラムの規模を拡大し、実施にあたる人たちが適切な支援と報酬を得られるようにする。
- 市民社会の活動の場を確保すること、そして、社会から排除され、犯罪視されるコミュニティを含むすべての人たちの人権をまもることによって、コミュニティのリーダーシップを阻む障壁を取り除く。

UNAIDSは2023年7月の年次報告書グローバル・エイズ・アップデートで、エイズ終結には道があることを明らかにしました。成否はHIV陽性者やキーポピュレーションの人たち、および思春期の少女や若い女性を含む優先集団によるコミュニティ主導の対応が実現できるかどうかにかかっていることを報告書のデータは示しています(2)。

では、そのコミュニティのリーダーシップがいかに進歩を促してきたのか、逆に何がそのリーダーシップを妨げるのか、そして妨げとなる制約をなくすにはどうすればよいのか、今回の世界エイズデー報告書は、こうした点をさらに深く掘り下げることになりました。報告書には、UNAIDSによる分析に加え、コミュニティの指導者から9つのゲストエッセイが掲載されています。この点も重要です。コミュニティのリーダーたちはどのように変化を推し進め、行く手にどんな障壁が待ち受けていたのか、そして2030年のエイズ終結に向けてコミュニティの力を発揮するため政府や国際パートナーに何を求めているのか。9つのエッセイはそれを明らかにしています。

この報告書が求めるアプローチは新しいものではありません。すでに世界の指導者たちが約束しているものです。2021年のHIVとエイズに関する国連総会政治宣言『不平等に終止符を打ち、2030年エイズ終結の軌道に』では、コミュニティ主導への支援がはっきりと打ち出されています(3)。

2025年までに検査と治療のサービスの30%、感染の高いリスクに直面している人たちへのHIV予防サービスの80%、効果的かつ持続可能なHIV対策に向け社会変化を促すプログラムの60%は、コミュニティ主導の組織によって提供できるようにすることが、合意されたターゲットには含まれています(3)。さらに、LGBTQIの人たち、薬物使用者、セックスワーカー、その他の犯罪者として扱われがちな人たちに対する懲罰的法律の撤廃、およびHIV陽性者やキーポピュレーション、優先集団の人たちが経験するスティグマと差別、ジェンダーの不平等と暴力を減らすための10-10-10ターゲットにも合意しました(表1)。

表1 2025年に向けた主要ターゲット

HIVサービス

- HIV陽性の子供や思春期の若者を含むあらゆる人口集団と地理的環境において、検査、治療、ウイルス抑制の95-95-95ターゲットを達成する。
- 妊娠中および授乳中のHIV陽性女性はすべて、生涯にわたる抗レトロウイルス治療を受けられるようになる。このうち95%は出産前および授乳中にウイルス抑制を達成し維持できるようにする。
- 疫学的な観点からHIV感染の高いリスクに曝されているすべての人口集団、年齢層、地理的環境の人たちの95%が、それぞれの人の事情を考慮し、適切かつ優先順位が高く、効果的な予防選択肢の組み合わせを利用できるようにする。

コミュニティのリーダーシップ

- HIV検査と治療のサービスの30%はコミュニティ主導の組織によって提供できるようにする。HIV検査から治療への接続、服薬継続とそのサポート、治療リテラシーにサービス提供の重点を置く。
- HIV感染の高いリスクに曝されている人口集団（当該集団内の女性も含む）に対し、コミュニティ主導の組織がHIV予防サービスの80%を提供できるようにする。
- HIV流行の拡大要因となる社会的課題を解決するプログラムの60%が、コミュニティ主導の組織により確実に実施できるようにする。

統合化

- 堅牢で回復力がある健康と社会保護制度に対し、公的資金による公平な投資を行う。HIV陽性者、HIVのリスクに曝されている人、HIVの影響を受けている人の90%が、それぞれの人を中心に据え、その事情にあわせた統合的なHIVサービスを利用できるようにする。

社会的課題解決要因

- 女性、少女、およびHIV陽性者、HIVのリスクに直面する人、HIVの影響を受けている人の間で、ジェンダーに基づく不平等や性的暴力、ジェンダーに基づく暴力を経験する人の割合を10%以下に減らす。
- 同意年齢法、HIVの非開示・曝露・感染に関する法律、HIV関連の移動や旅行を制限する法律、HIV検査を強制する法律、サービスへのアクセスを拒否または制限する法律など、HIV陽性者、HIVのリスクに直面する人、HIVの影響を受けている人を標的に不当な制限を課す法的、政策的枠組みがある国を10%以下に減らす。
- HIV陽性者、HIVのリスクに直面している人、HIVの影響を受けている人の間で、スティグマや差別を経験する人の割合を10%以下に減らす。そのためにU=U（検出限界値未満=感染しない）などの持つ可能性を活用する。

Source: 『不平等に終止符を打ち、2030年エイズ終結の軌道に: HIVとエイズに関する2021年国連総会政治宣言の主な約束とターゲット』ジュネーブ: UNAIDS 2022
(https://www.unaids.org/sites/default/files/media_asset/2021-political-declaration_summary-10-targets_en.pdf 2023年11月13日アクセス)。
(訳注: 日本語仮訳API-Net <https://api-net.jfap.or.jp/status/world/booklet060.html>)

世界はまだ、こうした約束を果たしていません。反LGBTQI法の撤廃は世界各国で進んでいるとはいえ、やるべきことはまだまだたくさんあります。コミュニティ主導の対応は様々な障壁のために妨げられているのが現実です。無報酬の労働への依存は、耐えがたい状態です。コミュニティ主導の組織運営を長期的に維持するために必要な支援が得られません。スティグマと差別が根強く残っています。社会的な課題解決を可能にする法改正やスティグマ対策がうまく機能していません。コミュニティ主導の組織としての資格登録は難しくなっています(結果として必要な資金を得にくくなる)。そして意思決定機関や保健システムにコミュニティが加われず、必要な関与ができていません。こうしたことが障壁になっているのです。

この報告書は、すでに得られてられているデータとエビデンスを総合し、コミュニティのリーダーシップについて以下の3点を強調しています。

- コミュニティが主導すれば、公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結は可能になる。コミュニティは、人びとのニーズに基づき、HIV、および性と生殖に関する健康と権利に必要な不可欠なサービスを、最も排除されがちな人たちにも届けてきた。コミュニティには独自の能力がある。必要な政策の変更を提言し、説明責任の監視役としても機能する。コミュニティ主導の対応はHIV対策のあらゆる側面で進歩を促す。とりわけ2030年目標のラストマイルを達成し、2030年以降もその成果を維持する上での役割は重要で、HIV対策全般でコミュニティに匹敵する成果を期待できるところは、他にない。
- エイズパンデミック終結への道が妨げられているのは、コミュニティのリーダーシップが抑えられているからで、能力の問題ではない。国のHIV対策の変革に必要な知識も創意も連帯の力もコミュニティにはある。問題はその能力の活用が様々なかたちで妨げられていることだ。
- コミュニティのリーダーシップを妨げ障壁を取り除けば、コミュニティ主導の可能性を最大限、引き出すことができる。しかも、その障壁は政府当局の権限で取り除くことができる。各国政府、ドナー、その他の利害関係者は、コミュニティ主導の約束を果たす必要がある。持続可能な制度の構築に向けたコア・ファンディングや資金調達プロセスの複雑さの解消などを通し、コミュニティ主導の組織が必要な資金を使えるようにしなければならない。コミュニティは邪魔をしているのではなく、前に進む道を照らしていることを認識する必要がある。政府は、コミュニティが必要不可欠な仕事を行うための安全で有意義なスペースを確保すべきだ。効果の高いコミュニティ主導の対応を妨げる懲罰的法律その他の政策上の障壁は除去しなければならない。

この報告書は、積極的な希望のメッセージを示しています。世界はいま、公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結の軌道には乗っていません。ただし、軌道に戻せる可能性はあります。コミュニティのリーダーシップを妨げている障壁を取り除ければ、世界をエイズ終結に導くことができます。HIV対策の成功に向け、いまこそコミュニティ主導でいきましょう！



REFERENCES

1. UNAIDS financial estimates. Paris: Organisation for Economic Co-operation and Development Creditor Reporting System (<https://stats.oecd.org/Index.aspx?DataSetCode=crs1>, accessed October 2023).
2. The path that ends AIDS: 2023 UNAIDS global AIDS update. Geneva: Joint United Nations Programme on HIV/AIDS; 2023 (https://www.unaids.org/sites/default/files/media_asset/2023-unaids-global-aids-update_en.pdf, accessed 13 November 2023).
3. Political declaration on HIV and AIDS: ending inequalities and getting on track to end AIDS by 2030. New York: United Nations General Assembly; 2021 (https://www.unaids.org/en/resources/documents/2021/2021_political-declaration-on-hiv-and-aids, accessed 9 September 2023).

The full report can be downloaded at [unaids.org](https://www.unaids.org)





UNAIDS
Joint United Nations
Programme on HIV/AIDS

20 Avenue Appia
1211 Geneva 27
Switzerland

+41 22 791 3666

unaids.org

日本語仮訳：公益財団法人エイズ予防財団